

# 市長「答申を尊重するが、丸呑みしない」

## 保育所の統廃合・民営化問題

### 「市民の意向把握を」

砂田市議 小矢部市立保育所統廃合・民営化推進委員会は、「大谷校区下で保育所4カ所をひとつに統合、蟹谷校区下では北蟹谷、東蟹谷保育所を統合、津沢保育所と数波保育所を民営化する」との答申を出した。この委員会には保育問題の専門家や、公募委員も含まれているが、わずかに2名の意見で保育行政が決められるものではない。

いま共産党はアンケート活動をしていますが、それに寄せられた市民の意向にしっかりと答える姿勢が大事ではないか(結果別項)。

### 「アンケート結果を参考にさせていただく」

民生部長 さっそく答申にもとづくアンケートをとられたようだが、その結果についても参考にさせていただきたい。

### 「シンポジウムで市民と話し合いを」

砂田市議 アンケートで示された意見の半分以上は、何もいま慌てて統合する必要はないというものだ。ただ、市民のなかにはいろいろな違った意見もある。そこで、この問題について市民が大勢参加して議論する場、シンポジウムのようなものを計画してはどうか。市民自身が今後の保育所のあり方をじっくりと時間をかけて話し合い、考えることも、市民参加の市政運営には有意義でないか。

### 「デリケートな問題」

民生部長 市民参加のシンポジウムの提案ですが、デリケートな問題でもあり、市としては今後議会や地域住民、保護者との協議により意見・要望を聞きたい。

保育所の統廃合・民営化をめぐる3月議会でも活発な議論が行われました。予算特別委員会でも多田委員への答弁の中で、桜井市長は「答申を尊重するが、丸呑みはしない」と答えました。

## 小矢部市 非核宣言自治体協議会に加盟へ

小矢部市は非核宣言自治体協議会に加盟します。予算特別委員会で砂田市議は桜井市長の思いを尋ねました。

### 小矢部の平和宣言

### 「核兵器なくせ」の明記を

桜井市長 昨年広島で平和市長会議に参加し、改めて核廃絶に向けた取り組みに積極的に参加していか

## 県民の足を守るものにできるか

### 並行在来線

北陸新幹線が開業する2014年にJRから経営分離される予定の並行在来線・北陸線が誰がどのように運営するか、3月市議会で砂田市議は県民の足を守るために次のことを主張しました。

- ① JRに自分の経営責任を。
- ② 金沢方面への通勤・通学の足確保を。
- ③ 石動高岡間の列車確保を。
- ④ 関西・中京方面の特急県内乗り入れを。
- ⑤ 貨物輸送もあり、第三セクター鉄道会社を県境分離しないこと。

### 石動駅の橋上化を検討

### 駅の南北を自由通路でつなぐ

石動駅の南北を自由通路でつなぐ、駅舎を線路の上に新設する橋上駅と



図A案

ねばならないと思った。これからの日本の将来を担う子どもたちにもぜひそういったところへ参加して、核に対する認識を新たにしていきたい。

砂田市議 小矢部市の平和都市宣言に「核兵器なくせ」が明記されていないが、改めるべきではないか。

桜井市長 平成23年度には、新たに日本非核宣言自治体協議会に加盟したい。

総務課長 宣言文は議会の議決で宣言しているので、改めるとなると議

することが検討されています。市は複数案を3月議会に示しました。2014年の新幹線開業までこれらについて市民のみなさんと話し合い、第三セクター鉄道会社との協議を経て一つに絞り込みたいとしています。その概要をお知らせします(詳細は「砂田喜昭のホームページ」参照)。

### 石動駅周辺整備4案

案	駅の橋上化	跨線橋にエレベーターの有無	南北自由通路エレベーター付き	格納庫(線路補修車収容・特急停車駅にある)	南改札口	駅前広場の改修	事業費
A	あり	あり	あり	線路北側に移設	なし	あり	20億円
B	あり	あり	あり	現在地に存置	なし	なし	14億円
C	なし、現駅のまま	現状のまま、なし	あり	線路北側に移設	なし	なし	11億円
D	なし、現駅のまま	跨線橋を南側へ延長し、エレベーター設置	なし	線路北側に移設	あり、人件費等で年間1千万円、10年で1億円必要	なし	6億円

